



今回の紹介地区 No.047 福岡県 うきは市 うきは地区

耕作放棄地再生利用緊急対策を活用した事例

状況

地区概要: 農地面積 2,535ha、うち耕作放棄地 217ha

放棄の理由: 高齢化による労働力不足等

荒廃の程度: うきは市の農用地の約8.6% (217ha) が耕作放棄地になっており、その内の88% (192ha) が中山間地を中心に山林原野化

取組概要

対象面積: 0.24ha(畠)

実施期間: 平成21年12月5日～平成22年3月24日

取組のきっかけ: 地域協議会が、6月に農業者等へ耕作放棄地再生利用に係る通知を送り、9月に本制度の説明会を実施した。これにより、営農組合から事業参加の希望があり、12月から具体的に事業を開始した。

調整経緯: 地主と利用者とで契約を行い、実施に至る

取組主体: 営農組合【平成22年4月に法人化予定】(作物: 春そば)

作業内容: 刈払、抜根、整地等

今後の予定

一般的に秋そばが主流であるが、6月からの需要期を狙い、5月に収穫し直売する予定



再生作業前



再生作業実施中



再生作業後